

大阪学院大学経済学部

情報経済論II(平成15年度前期)期末テスト問題(注意、形式のみ)

2003年7月23日

鬼木 甫

下記(A) - (D)の4個の設問から**2問**(各50点計100点満点)あるいは**1問**(85点満点)を選べ。答案冒頭に、**選んだ設問とその個数**を明記せよ(末尾例参照)。選んだ設問について、設問中のかぎカッコ(『』)中の単語を標題とし、かつ設問中の他の単語をすべて含む「記述」(前後関連を持つ数個の文章から成る短いエッセイ)を作れ。作成した「記述」中で、設問で指定された単語を○でかこむこと(ただし○をつけるのは、各問への答案中で、各単語につき1カ所だけでよい)。

- (A)『いろは』 にほへと、ちりぬるを、わかよ、たれそ、つねならむ
- (B)
- (C)
- (D)

加投票について：

これまで受け取った加投票(出席票各2%を含む)は、テスト答案の空白に添付すること。その際、添付には持参の「のり」あるいは「セロテープ」を使い、かつ加投票パーセントの合計を「答案1ページ目の右下部」に○で囲んで書いておくこと(故意・過失による計算誤りは、マイナス加点とするので充分注意されたい)。また上記に反する添付は、受け取らないことがあるので注意されたい。

次ページ以下の注意等は、試験当日の**問題用紙には記載されていない**ので注意されたい(本用紙を試験当日に持参するとよい)。

採点規準についての注意：

1. 採点は、「記述内容のまとまり、豊富さ、深さ」によって行う。
2. それぞれの単語を含む文章が前後関連なく並んでいる場合（下記の例(a)）は低く採点し、前後のつながりを明示している場合（下記の例(b)）は高く採点する。

例(a)（低採点）

哺乳類は学習によって生後に情報を取り込むことができる。コンピュータは、ハードウェアにソフトウェアを入れ込んで使用する。

例(b)（高採点）

哺乳類は学習によって生後に情報を取り込むことができる。同様にコンピュータは、ハードウェアにソフトウェアを入れ込んで使用する。つまり哺乳類の学習情報がコンピュータ・ソフトに対応している。

その他の注意：

1. 持込無制限とする（コンピュータ、プリンタも可）。
2. 答案文章としては、自身で書き下したオリジナル文章の場合を高く評価する。
3. 答案中に自他の資料を引用する（書き写す、貼付ける）ことは差支えないが、1回の引用が1行を超える際には、下記(a)(b)にしたがって引用元を明らかにすること。1行を超える無断引用があった場合、引用元の如何を問わず、答案無効となるので注意すること。
 - (a) ノート、教科書（テキスト）、教室配付資料、WWW入手・配付資料（本講義教材として指定の分）の場合、引用部分の前後に【 】（角カッコ）をつけて囲むだけでよい。
 - (b) 上記以外の資料からの引用の場合、引用部分をその前後に< >（不等号カッコ）をつけて囲み、引用元（著者名、書物・雑誌等名、発行者、刊行年月日、引用ページ番号など）を明記すること。つまり、引用全体を<引用文書、（著者名、書物名等、・・・、引用ページ番号）>の形にする。

答案冒頭形式の例：

(解答用紙)

2 問選択の場合 (100点満点)

1 問選択の場合 (85点満点)

2 問選択：(A) と (C)

(A) 『 (標題) 』
.
. (答案エッセイ) .
.
.

(C) 『 (標題) 』
.
. (答案エッセイ) .
.
.

1 問選択：(A)

(A) 『 (標題) 』
.
.
. (答案エッセイ) .
.
.
.

- 1 問選択、2 問選択を指定していない場合、実際の記述にしたがってそのいずれであるかを定める。
- 2 問選択と指定したのに 1 問だけにしか答えていない場合、**50 点満点で採点**するので注意すること。
- 1 問選択と指定して 2 問に答えている場合、第 1 番目の答を 85 点満点で採点し、第 2 番目の答は無視する。

大阪学院大学経済学部

情報経済論II(平成15年度前期)期末テスト問題

2003年7月23日

鬼木 甫

下記(A) - (D)の4個の設問から**2問**(各50点計100点満点)あるいは**1問**(85点満点)を選べ。答案冒頭に、**選んだ設問とその個数**を明記せよ(末尾例参照)。選んだ設問について、設問中のかぎカッコ(『』)中の単語を標題とし、かつ設問中の他の単語をすべて含む「記述」(前後関連を持つ数個の文章から成る短いエッセイ)を作れ。作成した「記述」中で、設問で指定された単語を○でかこむこと(ただし○をつけるのは、各問への答案中で、各単語につき1カ所だけでよい)。

- (A)『デジタル情報』、AD変換(アナログ・デジタル変換)、ダビング誤差、量子化、入力と出力
- (B)『パーソナル・コンピュータ産業』、競争と独占、互換性、OS(オペレーティング・システム、基本ソフト)、ロックイン戦略
- (C)『放送産業』、コマーシャル、デジタル放送、電波割当、新規参入と競争
- (D)『インターネット』、IPプラットフォーム、広帯域通信、eコマース(電子商取引)、ドメイン名、

加投票について：

これまで受け取った加投票(出席票各2%を含む)は、テスト答案の空白に添付すること。その際、添付には持参の「のり」あるいは「セロテープ」を使い、かつ加点パーセントの合計を「答案1ページ目の右下部」に○で囲んで書いておくこと(故意・過失による計算誤りは、マイナス加点とするので充分注意されたい)。また上記に反する添付は、受け取らないことがあるので注意されたい。